

## 第 21 回福岡矯正管区教誨師熊本施設研修会研修事業評価委員会議事録

### 1. 開催日時

平成 30 年 11 月 14 日（水）午前 11 時 30 分から同正午まで

### 2. 場所

ホテル日航熊本

### 3. 出席者

#### (1) 教誨師

〈熊本刑務所〉

山本多美男 芥川隆浄 後藤法龍 甲斐孝文 藤井慶峰 城生昌隆 尺 賢昌

赤星善生 山口義人 芥川隆章 加藤尚史 中津海智州 林精喜 小森正一 橘彰映

橋本信一 永井雄二 辰利信 原應仁 黒田宏信 海岸秀道 レナト・フィリピーニ

〈人吉農芸学院〉

藤島紘陽 藤岡孝教 松崎義治 季平聖也 千葉弘美 河村信

#### (2) 施設関係

〈熊本刑務所〉

笠達成

〈人吉農芸学院〉

入來寛久

### 4. 内容

(1) 研修会運営について

(2) 研修会内容について

(3) その他

### 5. 議事録

#### (1) 研修会運営について

ア 受付時に出席名簿にない参加者があり、所属教誨師会事務局に問い合わせ参加者名簿の提出ミスが判明し参加をして頂いた。

イ プログラム時間がずれてしまった。施設見学で 30 分早くなり、講演会質疑応答で 30 分長くなり時間配分を考慮すべきであった。

ウ 駅、施設、ホテルへの移動はスムーズに行われたが、移動負担軽減も今後考慮すべきではないか。

#### (2) 研修会内容について

ア 施設内を見学してそれぞれの施設の違いが分かってよいとの声を聞いた。

イ 人吉農芸学院の見学もできればとの意見もあった。

ウ 見学を少人数とすると説明もよく聞いたのではなかったろうか。

エ 講師との連絡が充分とれず講演レジメの提供ができなかった。

オ 講演は示唆に富み、今後の教誨活動の参考となった。

カ 施設説明はそれぞれの施設の特徴が伝えられていた。

キ 教誨師発表は2施設2名の発表であったが、質疑応答も活発でよかった。

(3) その他

ア 研修会の準備は短期間であったが、実行委員会の各部署がそれぞれに責任をもって積極的に準備に取り組んできた成果がみられた。

6. アンケートの詳細

(1) 研修テーマについて

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 適切だった     | 53名 |
| 2 どちらともいえない | 3名  |
| 3 適切でなかった   | 1名  |

その理由

「繰り返さないために」より「繰り返させないために」のほうが適切  
再犯防止を推進する取り組みがはっきりしない  
講師の話がピンとはずれであった  
教誨の目的を確認していきけるテーマ設定を

(2) 研修内容について

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 適切だった     | 53名 |
| 2 どちらともいえない | 4名  |
| 3 適切でなかった   | 0名  |

その理由

施設に入れることが良かった  
我藤先生の数値化された研究が良かった。今後女性収容者の研究も期待する  
施設説明や教誨師の活動が具体的に述べられていて有意義であった  
質疑応答の時間が充分に取れて活発な意見交換ができた  
我藤氏の調査報告は素晴らしかったが、教誨師に望むものが不鮮明であった  
施設見学は居住、風呂、実際の作業も見学したかった  
テーマを設けて各県教誨師のグループ討論会はいかがでしょう  
教誨師の理想像を示してもらったが、年数回しか赴かずどうすればよいのか  
教誨師の理想の在り方の提言が新鮮であった

(3) 研修の成果について

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 大いにあった    | 46名 |
| 2 どちらともいえない | 11名 |
| 3 あまりなかった   | 0名  |

その理由

施設見学、施設発表が良かった  
我藤先生のお話が参考になった  
我藤先生の分析はもっと時間をとって聞きたかった  
各施設によって事情が違いますが、各教誨師、施設職員の熱意が伝わった  
教誨師の粋を感じつつ、時にはその粋を取り払う必要があると感じた

教誨師の求められる在り方、各教誨師会の連携の在り方を考えさせられた  
教誨の世間への認知不足を感じている

(4) 実施体制について

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 充分だった     | 52名 |
| 2 どちらともいえない | 3名  |
| 3 不十分だった    | 2名  |

その理由

進行もスムーズに行われ、十分な実施体制であったと思う

実行委員の方々の労に感謝します

一生懸命にしっかりと準備をして頂いた

熊本教誨師会、施設職員の丁寧な受け入れ、接遇に感謝する

研修会場（刑務所・ホテル）が広く座席もゆとりがあって心地よかった

刑務所の歴史、教誨の歴史に目を向けられたのは良い試みだった

各自の席札を準備していただき、配慮が充分にしてあった

初めからホテル会場を利用すべきだった

受付で参加者名簿に名前がなかった

刑務所での実施は職員の負担が大きいと思われる。全日程をホテルで行えば

移動もない。希望者のみ研修会の前もしくは後に見学をするのも一方法

(5) 研修会を受けた感想を記入して下さい

古く新しい出会いもあり有意義であった

講演の統計学的見地分析は興味深いが、教誨師の負担が過重になる

課題が見えた。今後の活動に活かせるものであった

パネルディスカッション形式も一考の余地があると思う

キリスト教の教誨実施数に驚いた。教誨通信などに載せてください

教誨師の出所出院の人との関わり、保護司の働きにも目が向いた

施設概況説明が両方良かった

同じ立場に立つ教誨師の話聞いて良かった。立場、居場所を考えさせられた

外部の目線で矯正を評価してもらい、課題も見えて適切な研修であった

大変充実していた。バスの送迎もあり嬉しかった

熊本の教誨師さん達の熱心さに頭が下がりました

教誨の現場は勿論、一般社会の宗教離れが大きな問題と思った

熊本地震に負けず施設を上げて教誨活動が行われていることに感心した

施設、教誨師、保護司、地域社会、寺院の現実と理想の難しさを感じた

教誨師は出所後の受刑者と社会との橋渡しの役割があるとの提言に納得した

刑務所だけでなく、少年院、医療刑務所も見学したいと思った

(6) 研修会で得ることができた教訓、その他アピールしたい点等があれば記入して下さい

矯正と保護の連携をシームレスにと言いながら壁があることに気づいた

教誨師が調整役、相談役として出所後も活動できる体制づくりが望まれる

出所後のメンタルケアが必要、居場所が大切なことを教えてもらった  
教誨師としてできることが、まだまだあると感じることができた  
熊本刑務所のあゆみについての話がよかった  
研修会（全国・九州）の規模を縮小すべきである  
積極的に被収容者の課題に取り組むことの大切さを感じた  
社会に開かれた矯正が期待されている。教誨、情報発信も変わっていく  
教誨を受けてみましょうの記念碑が良いですね。取り組みの深さを感じた  
目的の「犯した罪に対する認識を共有」「人間の生き方を開く糸口を求めあって」  
教誨を行っていくことを再確認した  
教誨師間の協力体制、連携強化を図るため情報交換や意見の吸い上げが必要  
教誨は被収容者の心情安定のみならず社会変化についても伝えてゆく必要あり  
三角西港の法要について詳しく聞き、法要参拝にも積極的に参加したい  
熊本教誨師会は各宗派、各宗教の教誨師が一致協力していると思った  
教誨師の役割や可能性を改めて考えさせられた  
出所者、出院者の境遇に深く思いをいたす機会となった  
再犯防止に対し教義に基づき寄り添い、社会への働きかけが課題となった  
教誨師と篤面等との相互意見交換、研修会も一考すべきである。また、支援  
にはネットワークが重要である

(7) 全体を通しての満足度

5	満足	40名
4	やや満足	13名
3	普通	4名
2	やや不満	0名
1	不満	0名